

# DX(デジタルトランスフォーメーション)って何？

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データと**デジタル技術**を活用して、顧客や社会のニーズを基に、**製品やサービス、ビジネスモデル**を変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、**企業文化・風土**を変革し、**競争上の優位性を確立**すること。

出典：経済産業省「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン」

[https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/dx/dx\\_guideline.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dx_guideline.pdf)

# 「デジタル技術」と「DX」の本質的な違い

- デジタル技術 (IoT、AI、AR/VR、RPAなど) は **ツール** である  
DX (デジタルでトランスする) は **概念 (考え方)** である
  - ☛ **組織の抱える課題解決のソリューション (解決方法) と実現ツール**
- 実践ポイント(1) **DXを「自分事」にする**
  - × 流行りだから、乗り遅れないようにしたい
  - ◎ うちの会社に活用できるか、活用するならどう活用するか
  - ☛ 「自分事」にするには感性、俯瞰的視野などが必要である
- 実践ポイント(2) **DXは便利だから実施するのではなく、必要だからする**  
参考: ウェアラブル端末の例  
縫製業企業 (岩手モリヤ株): 働く女性の多い職場、働き方改革が必要
  - ☛ デジタル技術をツールとして活用 (デジタル化) して解決する

# 本講演会の位置づけ(私見)①

デジタル技術(ツール)(IoT、AI、RPA、ロボティクスなど)を活用したDX(概念)の取り組み  
↓  
どんな事業にする、どんな企業(組織)にする、どんな産業構造にする(industry4.0)  
どんな社会にする(Society5.0)・・・

(1)大企業の事例:既存事業の付加価値向上

国内外で事例は多い→コマツが典型的事例(DX銘柄)

(2)(メガ)ベンチャー企業の事例:新しい付加価値の創出、新事業開発

海外初の事例多い→フードデリバリー(Uber Eats、Walt)

タクシー配車アプリ(Uber Taxi、Lyft)

国内初の事例は・・・探索中

(3)(地域)中小企業の事例:地域課題(人口減少、働き方改革)の解決、経営基盤の維持強化

岩手県内の事例:業務プロセスでの活用:(株)小田島組

近藤の岩手県内での取り組み事例

☛直接と間接管理部門での活用:岩手モリヤ(株)【本報告】

※コスト削減・省力化などの取り組みは省いて考慮

# 本講演会の位置づけ(私見)②

デジタル技術(ツール)(IoT、AI、RPA、ロボティクスなど)を活用したDX(概念)の実装

↓  
実現するには、ビジネスモデル(システム)を変える・・・ビジネスプロセスを変える・・・  
多くの方が「ビジネスモデル」と「ビジネスプロセス」を混同しがちだが、明確に違う

## (1) ビジネスモデルを変える

- ビジネスモデルとは、「経営資源を経済的価値に変換し、顧客価値を創造して利益を獲得するための構造とプロセス」のこと。単純に言えば、製品やサービスを企画、製造して販売し、顧客に届けることで収益を上げる事業の仕組みのことである。
- ビジネスモデルを変えられるのはルールメーカーである大企業または独立型中小企業  
cf: 下請型中小企業は大企業のビジネスモデルに組み込まれている
- 主役は「経営サイド」、経営者の役割→マネジメントリテラシーが重要

## (2) ビジネスプロセスを変える

- ビジネスプロセスとは、ビジネスモデルに基づいて具体的に実行する方法(フロー)のこと
- ビジネスプロセス、特に社内プロセスを変えるのは、大企業、(独立型も、下請型も)中小企業も可能、つまり(投入できる経営資源に差はあるが)実装に企業規模は関係ない
- 主役は「現場サイド」、現場責任者の役割→テクノロジーリテラシーが重要